

保健医療社会学会・関西定例研究会 1（2025）

テーマ：研究支援のユニバーサルデザイン化を考える

第1演者： 巽真理子（大阪公立大学）
「大学での研究支援の『多様化』の現在-ダイバーシティといいながらの女性活躍支援-」

第2演者： 樫田美雄（摂南大学）
「研究支援のユニバーサルデザイン化-ライフスタイル中立的な研究支援の未来像-」

コメンテーター(2名)
松繫卓哉（追手門学院大学）
吉田雄一郎（摂南大学 研究支援・社会連携センター）

2025年9月28日（日）13:30-17:00
at 国労大阪会館3F（参加無料）

- ・本研究例会は、2026年6月に摂南大学寝屋川キャンパスで開催される『保健医療社会学会第52回大会』のプレ企画です。
- ・どなたさまも申込なしで、無料でご参加いただけます（13時20分開場）。
- ・記録のための録画・録音があります。あらかじめご了承ください。お願いします。

参考文献 巽 真理子（2023）『大学研究者へのワーク・ライフ・バランス支援 -女性支援からケア支援へ-』大阪公立大学出版会。
木下 衆（2018）「研究者によるケアを、誰がいかに支えるか -研究者のための社会学-」in『現象と秩序』第8号, 39-66頁。
アタロー（2024）「〈論文投稿学〉が〈研究費申請学〉に与える影響（素描）」in『新社会学研究』第9号, 97-104頁。

緊急時の連絡先＝樫田美雄（関西例会担当）のメール（yoshio.kashida@setsunan.ac.jp）

学会 HP： <https://square.umin.ac.jp/medsocio/seminar.html>（近日掲載）